

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和元年度中間）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容等

評価	左記の理由
A	まちカフェやつながリストなど「つながり」を意識した取組みが実施できている。また、時代の流れに沿った取組として I K U N O 動画部を始動し情報発信の拠点を作るなど新たな取組みににもチャレンジしている。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる提案内容等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	昨年度同様、専門知識をもつスーパーバイザーなど多角的に支援を行う体制が整っている。また、区との定期的な打合せにより情報共有ができており、目指す目標に対して認識の共有が図れており今後にも期待できる。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等

評価	左記の理由
A	理事長とのコミュニケーションツールとして、ニュースレターを使うなど工夫をしていることが良い結果をもたらしている。引き続き、スムーズに若い世代へ「バトンタッチ」できるようサポートを行い、地活協の安定的な組織運営に貢献してほしい。 また、連続テーマミーティングの開催をきっかけに地域が変わる意識を持ってもらい、地域が中間支援的な役割ができるよう、支援してほしい。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
A	昨年度に引き続き地域の実情や課題に即した支援を行っており、地域の信頼を得ている。支援内容に関しても、地域が中間支援組織の役割を担うことを目標とした支援メニューの組み立てや、動画部を立ち上げ配信を行うなど時代の流れに沿った取り組みができていることも大変評価できる。支援体制に関しても課題解決に向けて多角的に対応できるような人材を整えており、地域からの様々な要望に対応できる体制となっている。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。